

愛知県内初！「小1の壁」の課題を官民連携で解決！ 「小学生の早朝の居場所づくりモデル事業」を開始します

大府市は、こどもの通学団よりも保護者が早く出勤する家庭に対して、体育館内で始業前の児童を預かる、「小学生の早朝の居場所づくりモデル事業」を愛知県内で初めて開始します。市では、「おおぶこども輝く応援未来八策」に基づき、中学校給食の完全無償化など子育て家庭へのきめ細かいサービスを提供しています。

今回の取り組みにより、始業前の児童が安心して過ごせる環境を整えるとともに、保護者の育児と就労の両立をサポートし、いわゆる「小1の壁」の課題解決につなげます。

また、運営をシルバー人材センターに委託し、高齢者が自身の知識・経験を生かして児童と関わることで、地域での活躍の場を創出し、貢献寿命の延伸にも寄与します。

■「小学生の早朝の居場所づくりモデル事業」の概要

実施校・場所／共和西小学校（大府市共西町 1-206）

石ヶ瀬小学校（大府市江端町 6-99）内の体育館

実施日／2025年2学期開始日から3学期末までの平日

※冬休み、警報発令時、卒業式などの行事日は実施無し。

実施時間／午前7時～午前8時（昇降口開錠時間）

対象児童／保護者からの事前申請により登録した児童 ※登録証を配布、保険加入
利用料／無料

運営形態／公益社団法人大府市シルバー人材センターに委託

予算額／歳入 273 万円（国の補助金を活用予定）

歳出 273 万円（2校・最大約 250 人を想定）

運営の流れ／

※通学団の集合時間は変更なし

時刻	児童	シルバー人材センター（見守り員）
6:30～7:00	—	・開門、体育館の開錠、居場所の準備
7:00～8:00 （昇降口開錠）	・登校（保護者送迎） ・体育館でタブレットによる自主学習・読書・折り紙などをして過ごす	・体育館で受入、見守り
（昇降口開錠） 8:00～8:30	・昇降口を經由し、教室へ移動	・児童に昇降口へ行くよう声がけ ・体育館の片付け ・利用人数などを学校に報告し業務終了

緊急時の対応／シルバー人材センターの見守り員から保護者へ連絡

【問い合わせ先】

大府市学校教育課

担当：水野 恵朗（ミズノ ヨシロウ）

電話：0562-46-3331 FAX：0562-44-0020 メール：gakkyo@city.obu.lg.jp